

議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

2012年
9月1日号

No. **80**



— 写真の解説 —

6月26日(火)、老人福祉センターにて、鳴門市シルバー大の入学式が行われました。今年には99名の入学者の方々が、新たな学びの生活をスタートさせました。

TOPIX ●懲罰動議、処分要求が提出され、懲罰特別委員会を設置
●2つの常任委員会が東日本大震災被災地への行政視察を行う

目次

②	○第2回定例会の主な審査状況	⑧	○佐藤絹子議員 永年在職議員表彰を受賞
③	○【一般質問】 ・会派 絆 東 正昇 ・会派 新みらい 橋本 国勝	⑨	○第2回定例会の提出議案と議決結果について ○請願の処理 ○今定例会で提出された懲罰動議と処分要求について
④	・会派 新政会 潮崎 焜及 ・会派 優志会 秋岡 芳郎	⑩	○(行政視察報告) ・総務民生委員会 …岩沼市・仙台市(宮城県)、南相馬市(福島県) ・産業環境委員会 …多賀城市・大崎市(宮城県)
⑤	・会派 公明党 松浦 富子		
⑥	・上田 公司 ・宅川 靖次 ・山根 巖	⑪	
⑦	・平塚 保二 ・林 勝義	⑫	○鳴門市議会の情報発信に対する取り組み ○第3回定例会日程 ○人事案件(第2回定例会)
⑧	・三津 良裕		

発行/鳴門市議会

☎772-8501

徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎088-684-1234 ☎088-684-0814

✉gikai@city.naruto.lg.jp

編集/議会だより編集委員会 発刊月/3・6・9・12月

市議会の本会議および常任委員会の模様は、インターネット放送で、ご覧いただくことができます。

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

詳しくは、12ページをご覧ください。

第2回定例会の主な審査状況

5月31日(木) 第1回定例会 開会／予算決算委員会

- ・議長より佐藤絹子議員の永年在職議員表彰についての決議案が提出され、可決しました。
- ・市長から市政についての所信が表明され、議案10件、報告6件、同意1件が提出されました。
- ・補正予算に関する議案3件を予算決算委員会に付託しました。
- ・予算決算委員会を開催し、議案3件について説明を受けました。

6月8日(金) 一般質問

- ・5会派による代表質問を行いました。

6月11日(月) 一般質問

- ・議員4名による個人質問を行いました。

6月12日(火) 一般質問／予算決算委員会

- ・議員2名による個人質問を行いました。
- ・議案7件および請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。
- ・予算決算委員会を開催し、議案3件および報告5件について審査した結果、議案3件はいずれも可決すべきと決しました。

6月13日(水) 総務民生委員会

- ・議案5件および請願1件について審査を行った結果、議案5件はいずれも可決、請願1件については不採択にすべきと決しました。
- ・専決処分に関する報告を1件受けました。

6月14日(木) 産業環境委員会

- ・議案2件について審査を行った結果、議案2件はいずれも可決すべきと決しました。
- ・専決処分に関する報告を1件受けました。

6月15日(金) 本会議／懲罰特別委員会

- ・本会議では、6月13日に松浦富子議員ほか3名より提出された「議員平塚保二君に対する懲罰の動議」について、松浦富子議員より理由説明、平塚保二議員より一身上の弁明を受けた後、それぞれ質疑を行い、同案件は懲罰特別委員会に付託されました。
- ・懲罰特別委員会を開催し、「議員平塚保二君に対する懲罰の件」について協議しました。

6月18日(月) 懲罰特別委員会

- ・次回の日程についての協議を行いました。

6月19日(火) 本会議

- ・台風接近により災害対策本部が設置されたため、9日間の会期延長を行いました。
- ・議案10件および請願1件について各常任委員

長の報告を受け、採決を行い、議案10件はいずれも可決、請願1件については不採択と決しました。

- ・議会運営委員会より「発議第3号 鳴門市議会倫理条例の一部改正について」の議案が提案され、可決しました。

6月25日(月) 本会議／懲罰特別委員会

- ・本会議では、「議員松浦富子君に対する処分要求の件」について、平塚保二議員より理由説明、松浦富子議員より一身上の弁明を受けた後、それぞれ質疑を行いました。
- ・本件は採決の結果、第2懲罰特別委員会への付託は否決しました。
- ・懲罰特別委員会では、「議員平塚保二君に対する懲罰の件」について、協議しました。

6月26日(火) 懲罰特別委員会

- ・「議員平塚保二君に対する懲罰の件」について、協議しました。

6月27日(水) 懲罰特別委員会

- ・平塚保二議員に対し、懲罰を科すか否かについて採決を行い、懲罰を科すべきと決し、また懲罰の種類は「陳謝」にすべきと決しました。

6月28日(木) 本会議

- ・「議員松浦富子君に対する処分要求の件」について市長から再議書が提出されたため、33日間の会期延長を行いました。

7月13日(金) 本会議／第2懲罰特別委員会

- ・「議員平塚保二君に対する懲罰の件」について、懲罰特別委員長長の報告、平塚保二議員の一身上の弁明、討論の後、記名投票を行った結果、可否同数となり、議長の裁決で否決しました。
- ・「議員松浦富子君に対する処分要求の件の再議の件」について、市長より理由説明を受けた後、第2懲罰特別委員会に付託しました。
- ・本会議の小休中に開催した第2懲罰特別委員会の中で、平塚保二議員より処分要求書の理由説明を受けた後、松浦富子議員に対し、懲罰を科すか否かについて採決を行い、懲罰を科すべきと決し、また懲罰の種類は「陳謝」にすべきと決しました。
- ・平塚保二議員より処分要求書を撤回する旨の申し出があり、本会議において平塚保二議員より理由説明を受け、承認されました。
- ・今定例会で審査すべき案件はすべて議了したため、会期中での閉会をすることと決しました。

代表質問



会派 新のり
あずま まさひさ
東 正昇

● 市長の政治姿勢について ● 教育行政について

【問】第6次鳴門市総合計画の将来都市像に示す「結びあう絆が創る」まちづくりについて、どのような絆が必要とされ、それをどう生かそうとしているか。



第六次鳴門市総合計画

【答】自治基本条例の趣旨に基づき、協働の理念のもと、人と人、人と地域などのつながりや絆を重視し、さらに深く強い絆で結ばれた市民力、地域力を充実させた将来都市像の実現に向け、市民参画と協働のまちづくりを進めていきます。

【問】市観光協会の法人化への取り組みと今後の協会が果たすべき役割について。

【答】観光を通じて交流人口の増加を促すことが重要なテーマであり、第6次鳴門市総合計画にも成長戦略の1つとして位置づけています。今後協会には、行政ではできない幅広い観光事業に加え、物販など複合的な事業展開を図っていただきたいと考えています。

【問】スポーツを柱に据えたまちづくり推進のため、「鳴門市スポーツ振興計画」の策定を提案したい。

【答】子どもから高齢者まで誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ関係者などのご協力をいただきながら、本市の実情に即した施策を推進し、スポーツ振興計画の策定に向け取り組んでいきたいと考えています。

代表質問



会派 新のり
はしもと かつのり
橋本 国勝

● 行財政運営について ● 競艇事業について ● 福永家住宅について

【問】本市の財政状況と今後の見通しについて。

【答】これまでの行財政改革の取り組みにより一定の成果を上げていますが、財政構造の弾力性や将来への負担を示す指標は類似団体を上回り、依然、財政の硬直化は続いていることから、引き続き財政健全化に向けた取り組みを鋭意進める必要があります。今後も財政需要の拡大が予想されるため、スーパード改革プランの計画中間年度である今年度は、計画策定時に想定していない防災対策事業などを含む財政需要や市税など歳入面の動向を試算し直し、計画上の目標収支とのかい離などを検証する予定です。

【問】競艇事業の施設改善計画の提出のめどはいつか。

【答】平成24年度中のできるだけ早い時期に説明ができるよう進めていきます。

【問】福永家住宅の維持管理と一般公開に向けた取り組みについて。

【答】雨水の排水対策が十分でない現状では本格的な修理が難しく、当面の間は傷んだ場所を応急的に修理しながら公開したいと考えています。

活用については、年2回程度の一般公開を実施する中で公開に関するノウハウを取得し、ボランティア団体との連携でより地域に密着したものにし、一般の見学や学校の総合学習の場として活用したいと考えています。



塩業で栄えた当時の様子を垣間見ることができる福永家住宅

代表質問



会派新正
しおざき てるちか
潮崎 焜及

法令遵守の実践

および次世代のための
政策について

【問】私が違法と考える、競艇事業の臨時従事員に支出した公金、また、市に架空の債務または責任があるかのように装い協力金として競艇事業が支出した鳴門町漁業協同組合と新鳴門漁業協同組合への公金について、これまで市長は違法性を認めなかった。私はこのことを、法的根拠がなく地方自治法と地方公営企業法に違反する重大な背信的行為と判断し、徳島地方裁判所に訴えを提起した。司法の判断を仰ぎ、正々堂々と市長等、市の経営者の違法性を明らかにしたい。今回の住民訴訟を通じ市職員が違法な行政行為に関わっている事実を知り、法令遵守に対する意識の希薄さや低下に危機感を覚えた。市長を含め職員の法令遵守は高いと評価するか。

【答】研修や通知により職員の意識の維持向上に努め、法令遵守を含めた公務員としての意識は高水準と考えています。



市職員の研修風景

【問】超高齢社会での市の経済モデルについて、市民の会計としての可処分所得の設定数値と社会保障負担費の数値は。

【答】可処分所得について国の調査では平成19年は平成16年に比べ約5%の減少、また、国民基礎調査では平均可処分所得も平成21年は平成18年に比べ1世帯当たり約3・5%の減少です。本市も、特に低所得者の負担軽減策は考慮する方針であり、今後も国の動向を注視し、人に優しい健康で安らげる町の実現のため各施策を展開します。

代表質問



会派優志
あきおか よしろう
秋岡 芳郎

防災対策について

鳴門海峡の
世界遺産化について

【問】学校の避難所としての運営方針は。

【答】避難所運営のあり方再検討のため、職員防災訓練において、避難所での発生が想定されることへの対応を疑似体験する避難所運営ゲーム(HUG)を実施しました。今後は教職員や地域との相互協力のもと、避難所の管理運営マニュアルを策定します。

【問】里浦小学校は屋上避難のためのフェンスを設置するが、今年度から耐震工事を始める撫養・桑島・黒崎の各小学校の屋上についても設置を検討しては。

【答】撫養・桑島両小学校は3階屋上に避難できるよう整備を検討しており、また黒崎小学校は避難場所として校舎4階教室の活用を考えています。

【問】災害情報の正確な通信・伝達手段の確保が大切だが、具体的な方針は。

【答】新消防庁舎に高機能消防通信指令システムを導入し、今後はデ



鳴門公園から臨む大鳴門橋

ジタル防災行政無線や消防・救急デジタル無線、デジタルMCA無線機の整備を進め、その他可能なメディアを使い災害情報を迅速にお伝えします。

【問】国生みの舞台とも言われ、渦潮という世界最大の自然現象がある鳴門海峡の世界遺産化への取り組みは。

【答】南あわじ市との官民相互の連携や、鳴門観光ブランド化庁内推進グループが企画した鳴門公園の素晴らしさを体験するためのイベントの開催などにより、鳴門海峡世界遺産化に向けた取り組みを進めます。

代表質問



党公明 子富
会派 松浦 富
まつうら 松浦 富

- 高齢者の生活水準確保のための経済政策について
- 地域経済の活性化について
- ごみ問題について
- 危機管理対策について

【問】高齢者が増加し、家計収入が激減する高齢者世帯も増加する中、収入維持のための具体的な政策は。また、高齢者世帯における社会負担について。

【答】高齢者の社会負担軽減策として、下水道使用料については、70歳以上の高齢者のみ世帯に、低所得世帯に対する下水道使用料の減免ほか受益者負担金の徴収猶予制度を実施しています。また、第5期介護保険事業計画において、介護保険料の基準額を据え置き所得段階を1段階増やすことで、低所得層の負担軽減を図っています。

【問】地方経済政策「小さな企業未来会議」には参画しているか。

【答】本市は参画していません。エコノミックガーデニングの取り組みを中長期的な視点で継続して推進し、経済の活性化を図ります。

【問】市指定ごみ袋の収益の額とその使い道は。また、価格を100円ほど値下げし、形状も高齢者の方が使いやすいよう改善しては。



鳴門市の指定ごみ袋

【答】売却収入は、ごみの分別や減量対策、処理にかかる経費に充当しています。価格は現状を継続、形状は今後の検討課題とします。

【問】市の危機管理対策として、高齢者や障がいをお持ちの方、市内の幼・小中学校への笛の配布について。

【答】笛や常備薬など各個人が使用するものは、家庭内用備蓄として広報なるとやテレビ広報などで周知啓発を行います。

個人質問



上田 公司
うえだ こうじ

- クリーンセンターの維持管理について
- ごみ行政について

【問】クリーンセンター建設にかかると土地の取得面積と経費、現在の利用状況は。

【答】取得面積は約56haで、現在利用している面積はそのうち約8.5haです。取得金額は約24億7,000万円、償還期間は15年で利子総額は約3億円となる予定です。

【問】これまで市民が指摘してきたとおり、燃焼室中の燃焼ガスの温度が数時間連続して800度以下になっていることや燃焼室入口の温度計が壊れていることなどが、県からも法令等を遵守していないと指摘されているが。

【答】ごみ質等によっては800度を下回ることもあり、助燃装置を作動させるなど通達に従った措置をとっていますが、それでも速やかに800度以上にならないこともありました。県からも法が定める処理基準等を遵守するよう助言されており、周辺住民の生活環境

に配慮した管理運営を行い、市民の誤解を招かないよう努めたいと考えています。



鳴門市クリーンセンター

【問】これまでの市民によるごみ減量の成果や近年の経済的負担増を考えたも、少なくとも指定ごみ袋の価格を値下げすべきと考えますが、大1枚を35円から20円とした場合のデメリットは。

【答】指定ごみ袋の販売収入の減少による財政上の影響や、ごみ排出量の増大に伴う処理経費の増加が考えられます。

個人質問



たか かわ やす じ 次
宅 川 靖

- 財政運営について
- 保健行政について
- NPO法人とボランティア団体について

【問】財政運営の健全化対策と今後の取り組みについて。

【答】平成23年度の財政健全化目標の達成状況は実質収支黒字を維持を達成、普通会計については地方債残高を2年間で約15億円の削減を進めています。基金残高も平成23年度末の計画目標数値より約3億円多い約35億5,000万円を確保しました。

今後も、市税収入の確保と徴収率の向上、義務的経費の抑制、事務事業の見直し、特別会計や公営企業等の経営健全化、民間活力の導入など、全職員一丸で取り組みます。

【問】保健行政について。

【答】生活習慣病予防や栄養について、健康教室や地域への出前講座において周知を図っています。また昨年度は鳴門病院と連携して市民実践講座「糖尿病と正しくつきあう方法とは」を開催し、またヘルシークッキング教室で調理実習

や試食を体験していただいています。

【問】市内のNPO法人について。

【答】平成24年3月末現在、NPO法人(特定非営利活動法人)は市内に28団体、また市ボランティアセンターに登録済みのボランティア団体は86団体です。本市では老人福祉センターに市民活動支援センターを設置し、専任指導員を置いてボランティア活動やNPO法人の設立・運営相談に応じています。



親子で楽しく学ぶヘルシークッキング教室

個人質問



やま ね いわ お
山 根 巖

- 教育行政について
- 環境行政について

【問】県下に先がけて実施している2学期制において、夏休みなど長期休業日の活用と、学校の環境整備や子どもたちの学習意欲の向上のためには、エアコンの設置が有効だと思うが。

【答】夏季休業日を活用し授業時数を確保することや補充学習を実施することは、児童生徒の確かな学力育成のための1つの有効な方法であり、普通教室にエアコンを設置することで学習に適した環境となり学習効果を高める効果も期待できるのではないかと考えます。しかし現在は子どもたちの命を守るための学校耐震化に優先的に取り組んでいるためエアコンを全教室に整備することは財政上難しい状況です。今後、空調設備の整備に関する国の補助交付金制度の動向などの情報収集に努めます。

【問】ごみ処理時に発生する有害物質の排出濃度の広報のため市内4ヶ所に設置されているモニター

を、より分かりやすくまた見やすくしなければならぬと思うが。

【答】現在、クリーンセンターの表示板を写した映像をパソコンの画面で見られるようにしているため、市民の方から「分かりにくい」との声も寄せられています。確かに画像が不鮮明で排ガス濃度の確認が難しいと思われるので、分かりやすい表示方法などについて検討していきたいと考えています。



有害物質の排出濃度を確認できる市役所1階受付横のパソコン

個人質問



ひらつか やすし 平塚 保

● 水環境問題について ● 下水道使用料について

【問】黒崎や桑島の通称「水尾」の水質問題で、住民から改善を求める意見や要望が次々に出てきているが、

【答】中水尾川の水質については、未処理生活雑排水の流入が汚濁の主な原因と認識しており、合併処理浄化槽や公共下水道の普及整備で各家庭からの排水の水質が改善されれば、水質問題も随分解決できるのではと考えています。

【問】下水道使用料について、今年4月から1m当たり20円減額の210円となったが、平成18年の下水道使用料金審議会の中で、1m当たり150円とし加入率を上げる施策を強く主張された委員もいた。平成18年以降新たに下水道を供用する場合、地方交付税の減額対象外とするため1m当たり201円を下回らないようにするとう市長の方針には理解を示すが、これで果たして加入率が向上すると思われるのか。



住宅街を流れる中水尾川

【答】本市が平成21年度から1m当たり20円減額する一方、経営改善のため使用料を値上げする自治体もあり、一般家庭用下水道の月20m当たりの使用料と比較すると、約1,900の全国下水道事業実施団体のうち高額な順から82位となっています。

今年度も使用料の設定価格の引き下げ措置は引き続き実施し、財政面への影響にも最大限配慮しつつ、今後も計画的に整備を進めます。

個人質問



はやし かつよし 林 勝義

● 漁業振興について ● 競艇事業について ● 教育行政について

【問】東日本大震災の教訓を生かすため、これまで以上に防災教育の充実が求められている。現在市内の幼稚園や学校では、地震・津波に対応するためどのような防災教育を実施しているのか。

【答】子どもたち一人一人が主体的に行動できるようにするための知識や能力を身につけられるよう、教育活動全体を通じて防災の視点をもち教材や活動を洗い出し、各園・各校で指導方法を工夫して取り組んでいます。

【問】本市漁業の振興を図っていくため、市として漁業後継者の育成に向けてどのように取り組んでいくのか。

【答】若手漁業関係者との交流機会を増やし、意見をお伺いしながら、本市の新鮮かつ高品質な水産物を将来にわたって供給するために最も重要となる、漁業担い手の育成・確保を推進していきます。



水産資源の豊かな鳴門の海で漁業に励む人

【問】競艇事業と鳴門の特産・資源を生かした他の集客施設との複合化に、どのように取り組んでいくのか。

【答】競艇本場の施設改善にあたり、複合化も検討していますが、競艇事業との複合化による相互活性化を促すためにも、まずは本場施設改善計画を作成し、集客見込みなどを見積もった上で、複合化に向けた民間事業者への働きかけを行っていききたいと考えています。

個人質問



みづほ よしひろ
津 良裕

● 教育行政について
● 観光行政について

〔問〕通学路などでの交通事故の防止策について。

〔答〕市青少年センターが任用するスクールガードリーダーが各学校を巡回し、安全指導を行っています。また、学校やPTA、市、県などが合同で通学路を点検し、危険度の高い箇所から改善に努めています。

〔問〕子どもの読書習慣の低下に対し、どう環境整備の充実を図っているか。

〔答〕サポーターの配置や読書活動ボランティアにより学校図書館を活性化し、子どもたちの読書活動を推進しています。

〔問〕市の学校給食の主食は(財)鳴門市学校給食会から購入しているが、他業者からの購入の有無、購入方法、価格の妥当性について。

〔答〕主食の購入先は、学校給食用委託加工業者として県学校給食会に登録済みの業者に限定され、市内では(財)鳴門市学校給食会だけです。複数業者からの主食提供も

検討しましたが、多くの課題があり、同法人にお願いしています。給食費のうち1食当たりの主食代は、他市より20円〜30円ほど高くなっています。

〔問〕四国八十八ヶ所霊場と遍路道の世界遺産登録について、観光という視点での取り組みは。

〔答〕国土交通省の委託事業を受け、遍路道の道標を引くなど、世界遺産登録気運の醸成を図っています。

〔問〕県外・市外から電気自動車で来る方々のため、公共施設に充電設備を導入・整備しては。

〔答〕社会情勢の動向や利用者ニーズをとらえながら、道の駅など公共施設の活用も含め整備を検討したいと考えています。



電気自動車充電設備
(写真は徳島保健所庁舎)

祝！ 佐藤 絹子議員 永年在職議員表彰を受賞



佐藤絹子議員

5月23日に開催された「全国市議会議長会定期総会」において、佐藤絹子議員(無所属)が25年以上在職議員として、特別表彰を受賞されました。

佐藤絹子議員は、昭和62年に初当選し、現在7期目です。この間、各常任委員会委員長、平成5年には副議長、平成15年には議長と、各職を歴任されております。

受賞挨拶では、「日頃においても中庸の精神を尊び、私のできることを、その日その日で一生懸命やっつけていきたい」と語られました。本当におめでとうございます。



着座中央が佐藤絹子議員

第2回定例会の提出議案と議決結果について

議案番号	案 件	議決結果	備 考
議案 第 56 号	専決処分の承認について(平成23年度鳴門市一般会計補正予算(第4号))	承 認	予算決算委員会にて審査
議案 第 57 号	専決処分の承認について(平成23年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第3号))		
議案 第 58 号	専決処分の承認について(平成23年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算(第2号))		
議案 第 59 号	専決処分の承認について(鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について)	承 認	総務民生委員会にて審査
議案 第 60 号	鳴門市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決	
議案 第 61 号	鳴門市火災予防条例の一部改正について		
議案 第 63 号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		
議案 第 64 号	徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		
議案 第 62 号	住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	原案可決	産業環境委員会にて審査
議案 第 65 号	公有水面の埋立について		
報告 第 2 号	繰越明許費繰越計算書について(平成23年度鳴門市一般会計予算)	報 告	予算決算委員会
報告 第 3 号	繰越明許費繰越計算書について(平成23年度鳴門市介護保険事業特別会計予算)		
報告 第 4 号	繰越明許費繰越計算書について(平成23年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算)		
報告 第 5 号	繰越計算書について(平成23年度鳴門市水道事業会計予算)		
報告 第 6 号	弾力条項の適用について(平成23年度鳴門市モーターボート競走事業会計)		
報告 第 7 号	専決処分について(損害賠償の額の決定)		総務民生委員会・産業環境委員会
発議 第 3 号	鳴門市議会倫理条例の一部改正について	原案可決	委員会付託を省略
決議 第 1 号	鳴門市議会永年在職議員表彰について	原案可決	
同意 第 3 号	固定資産評価員の選任について	同 意	
	議員平塚保二君に対する懲罰の件	否 決	懲罰特別委員会にて審査

請願の処理

請願番号	案 件	審査結果	備 考
請願 第 23 号	外国資本による土地買収を制限する法整備を求める意見書決議の請願書	不採択	総務民生委員会にて審査

「今定例会で提出された懲罰動議と処分要求について」

※懲罰動議は否決、処分要求は撤回となったため、対象となった議員に対しては懲罰を科さないこととなりました。

【懲罰動議と処分要求にかかるこれまでの経緯】

今期第2回定例会6月11日の一般質問の発言に対し、6月13日、松浦富子議員より平塚保二議員に対する懲罰の動議が提出されました。

これを受けて6月15日に本会議を開き、理由説明の後採決を行い、懲罰特別委員会に付託されました。

同日、懲罰動議の理由説明での発言に対し、平塚議員より松浦議員に対する処分要求書が提出されました。

処分要求書は、6月25日の本会議で第2懲罰特別委員会への付託について採決し否決されました。

この議決に対して、会議規則第154条に違反するとして、6月28日付で、市長より再議書が提出されました。

平塚議員に対する懲罰動議については、委員会で

挙手多数により陳謝の懲罰を科すことに決定しました。

この結果は7月13日の本会議において報告され、討論では東正昇議員、佐藤絹子議員、上田公司議員がそれぞれ反対討論を行いました。平塚議員に対する懲罰は、記名投票の結果、可否同数(10対10)となり、議長の裁決で否決され、懲罰は科されないことになりました。

また市長より再議書の理由説明を受けた後、松浦議員に対する処分要求の件については、改めて第2懲罰特別委員会に付託されました。委員会では審査の後、挙手多数により陳謝の懲罰を科すことに決定しました。

その後、平塚議員より、6月15日に提出した処分要求書の撤回の申し入れがあり、その後再開された本会議で承認されました。

総務民生委員会の行政視察報告

7月3日(火)
4日(水)

視察参加者(※ ◎は委員長、○は副委員長)

◎ 宅川 靖次 / ○ 林 勝義 / 秋岡 芳郎 / 上田 公司 / 川田 達司
/ 谷崎 徹 / 橋本 国勝 / 平塚 保二 / 三津 良裕 / 宮崎 光明

●岩沼市・仙台市(宮城県)



「^{さと}里の^{もり}杜」仮設住宅(岩沼市)

岩沼市は他の被災地に先がけて震災復興計画を策定し、スピード感のある震災復興を目指しており、仮設住宅建設に迅速に取りかかるとともに、そこで暮らす被災者の心のサポートや、高齢者、身体障がい者といった生活弱者への支援体制の強化に力を入れていました。

今後は東日本大震災の教訓を生かし、多重防御の考えに基づいて、東西の避難路や津波よけ「千年希望の丘」の整備に重点的に取り組むとともに、再生可能エネルギーを導入した先進的モデルタウンの構築を目指すとのことでした。



瓦礫^{がれき}処理が進む井土^{いど}搬入場(仙台市)

仙台市では震災廃棄物処理場を実際に見学し、システム運営や瓦礫^{がれき}処理の現状

についての説明を受けました。瓦礫^{がれき}などの処理は地元の産業廃棄物処理業者に委託し、最終処分までを自らの地域内で行う「自己完結型」の体制で行っていました。

また、仮設焼却施設の設置や環境に配慮した処理など環境整備も進んだとのことで、視察した井土^{いど}搬入場では廃棄物が種類ごとに整然と積み、リサイクルシステムも円滑に機能している印象を受けました。

●南相馬市(福島県)

南相馬市鹿島地区は、震災直後から社会福祉協議会が主体となり、被災住民への支援や災害ボランティアセンターの開設、ボランティアの受入に積極的に取り組んでおり、委員からは、施設運営上の課題や問題点について質疑がありました。



生活復興ボランティアセンターにて

立ち上げからほぼ手探り状態で進められ、めまぐるしく変化する状況やニーズへの対応に相当苦慮されたとの実情を聞き、災害発生前から想定しうることは限られるが、現地の声を実際に見聞きし、防災・減災を考えることが重要だと実感しました。

産業環境委員会の行政視察報告

7月18日(水)
19日(木)

視察参加者(※ ◎は委員長、○は副委員長)

◎ 藤田 茂男 / ○大石 美智子 / 東 正昇 / 榎原 幸告 / 佐藤 絹子
/ 潮崎 焜及 / 野田 粹之 / 松浦 富子 / 山根 巖

●多賀城市(宮城県)

産業環境委員会は、昨年の東日本大震災後の復興計画および下水道の現況について、多賀城市へ視察に行きました。復興期間を10年とする計画を策定し、復興に取り組んでいました。高台がなく震災以前も避難ビルの指定はされていましたが、震災以降さらに商業施設を一時避難場所とする協定の締結を行っていました。

また、普及率の高かった下水道の被害は大きく、震災時より改善されてはいるものの、現在も雨が降ると汚水が吹き出すなどの被害が続いており、清掃や消毒作業を行っていました。復興が進みつつある現在、1番必要なものはマンパワー(人的資源)であるとのことでした。



しちがはま がれき
七ヶ浜町の瓦礫置き場

隣の七ヶ浜町しちがはまでの現地視察では、沿岸部の大半が更地しちがはまとなっており、瓦礫置き場にはまだ多くの瓦礫がれきが残るなど、1年半経過した現在でも当時の津波の被害の大きさが伺えました。

●大崎市(宮城県)

2日目は、震災復興計画について、大崎市へ視察に行きました。



大崎市議会にて

大崎市は津波の被害はありませんでしたが、多くの家屋が全半壊し、市庁舎においては天井が落下するなどの大きな被害がありました。大崎市は自主防災組織が発達しており震災時には、行政だけでは対応が困難な、個人の安否確認や地域間の情報交換が積極的に行われました。担当者からは、災害時は停電などにより正確な情報伝達が困難になるため、地域での共助が重要であるとの話がありました。

大崎市では、温泉地という特色をいかし約10万人もの被災者を受け入れたことが評価され、平成23年度地域づくり総務大臣表彰を受賞していました。また、復興計画を進めていくなかで他市からの派遣受け入れを行っているものの、技術職の職員が不足しているとのことでした。



担当課より説明を受ける委員

鳴門市議会の情報発信に対する取り組み

鳴門市議会では開かれた議会を目指し、市民の皆さんに向けて、さまざまな方法で情報発信を行っています。

●実際に傍聴してみたい…

市議会の本会議と委員会は、一般の方も自由に傍聴でき、生の議論をご覧になることができます。議会の当日、受付でお名前、ご住所、年齢をご記入いただいた後、職員がご案内いたします。

受付場所は以下の通りです。

●本会議…議場

(東側階段をご利用ください)

●委員会…議会事務局

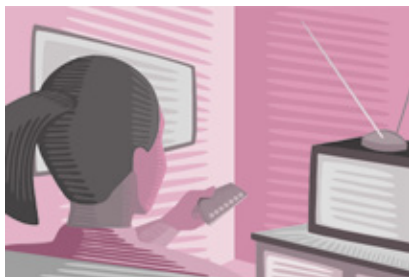
(中央階段またはエレベーターをご利用ください)

※いずれも、鳴門市役所の本庁舎3階東側にあります。

なお、傍聴席には限りがあり先着順となりますのでご注意ください。



●テレビで見たい…



2月、6月、9月、12月の年4回行われる定例会の期間中は、市政に対する一般質問(会派代表質問、個人質問)を中心とする本会議の様態をテレビ鳴門(ケーブルテレビ)の生中継や録画放送で見ることができます。

対応チャンネルは以下の通りです。

●デジタル対応テレビ

[121チャンネル]

●アナログ対応テレビ

[C23チャンネル]

●パソコンで見たい…



インターネットに接続できる環境であれば、鳴門市議会のホームページからも本会議と委員会の中継映像や過去の録画映像を見ることができます。

ホームページアドレスは

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/> です。

※トップページの『議会映像配信』をクリックしてください。



人事案件(第2回定例会)

○固定資産評価員に

むかい なおゆき

向井直之氏 (北灘町)

議会だより編集委員会

委員 長	野田 粹之
副委員 長	谷崎 徹
委員	秋岡 芳郎
委員	潮崎 焜及
委員	林 勝義
委員	松浦 富子
委員	山根 巖

第3回 定例会日程(予定)

※各委員会の日程は9月6日(木)の正副委員長会で決定します。また、太字についてはインターネット中継および録画配信を実施します。

10月	9月
1日(月)	13日(木)
30日(日)	14日(金)
29日(土)	15日(土)
28日(金)	19日(水)
27日(木)	20日(木)
26日(水)	21日(金)
25日(火)	22日(土)
24日(月)	23日(日)
23日(日)	24日(月)
22日(土)	25日(火)
21日(金)	26日(水)
20日(木)	27日(木)
19日(水)	28日(金)
18日(火)	29日(土)
17日(月)	30日(日)
16日(日)	
15日(土)	
14日(金)	
13日(木)	
12日(水)	
11日(火)	
10日(月)	
9日(日)	
8日(土)	
7日(金)	
6日(木)	
5日(水)	
4日(火)	
3日(月)	
2日(日)	
1日(土)	

平成24年第3回定例会は、9月13日から10月5日までの23日間の予定です。